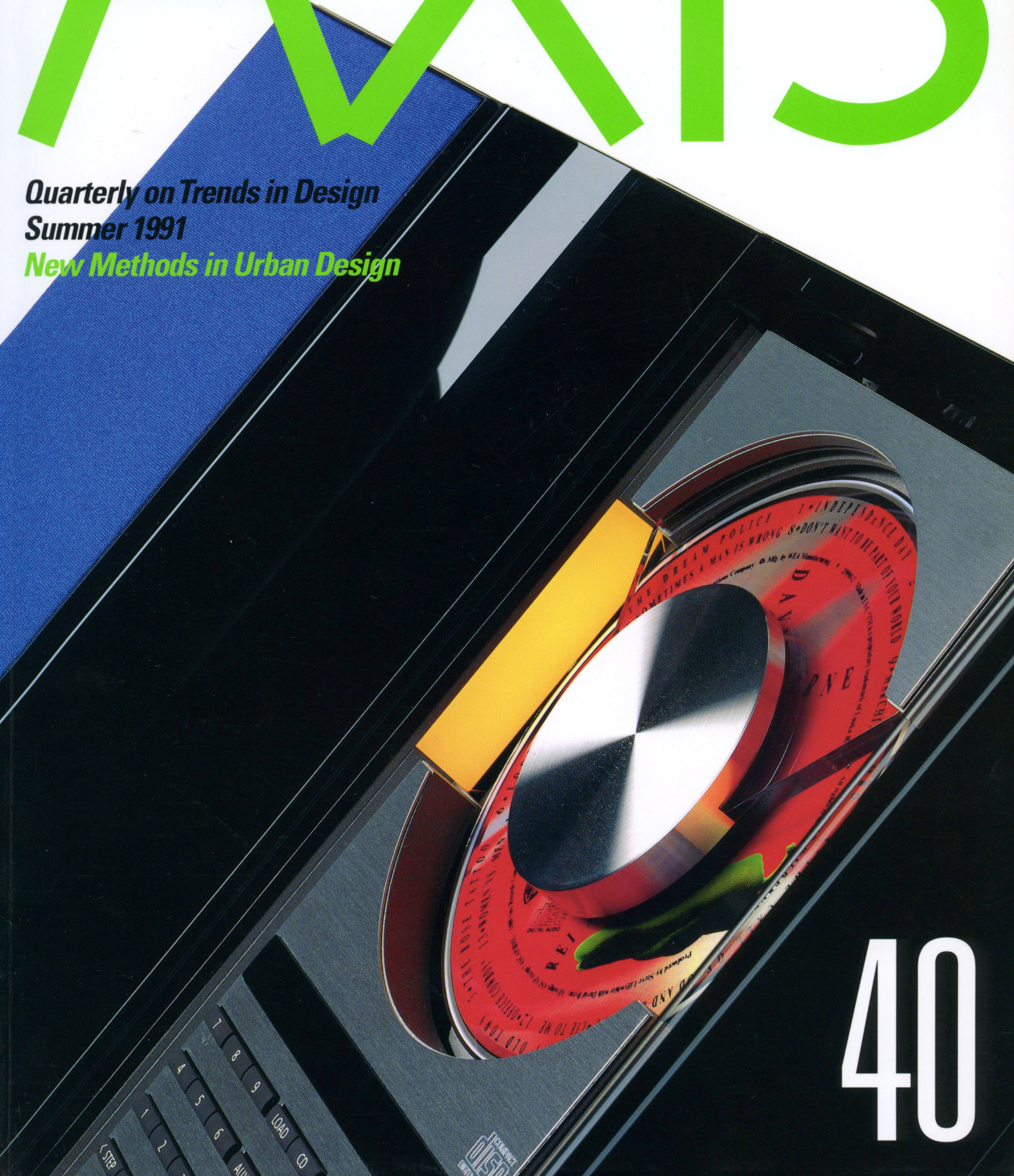


AXIS

Quarterly on Trends in Design
Summer 1991
New Methods in Urban Design



40

San Francisco

八木 保

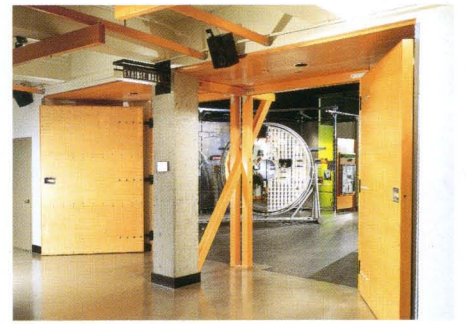
Tamotsu Yagi 1949年、神戸生まれ。18才頃からグラフィックデザイナーとして活動を開始する。1984年、アメリカのアパレルメーカー、ESPRITのビジュアル担当のアートディレクターとして渡米。最近独立し、フリーランスデザイナーとして活動を開始する。サンフランシスコ在住。87年にAIGAリーダーシップ賞を受賞する。

テクノロジーセンター 「ガレージ」オープン

「ザ・ガレージ」は、シリコンバレーに建設されるテクノロジーセンターの仮設としてデザインされた施設である。仮設の建築物は、フランク・ゲーリーが設計したロサンゼルス「テンポラリー・コンテンポラリー」など、話題のものが相次いでいる。この15,000平方フィートのガレージの設計は、建築とプロダクトデザインを手掛けるA+Oという事務所が担当した。同社の社長アウラ・オスラバス氏は、クランブルック大学を卒業し、パーディックグループやエスプリで経験を積んだ実力派。ここでは、最新の装置を実際に使って、大人も子供も楽しみながらテクノロジーの現状を学ぶことができる。全館はマイクロエレクトロニクス、バイオテクノロジー、ロボット、マテリアル、宇宙、未来自動車の6つの展示で構成されている。各展示ブースには、ホワイトボードによるインフォメーション、インタラクティブな装置、ビデオがあり、毎年その展示内容が変わる予定だ。またアップトゥーデイトな情報を提供するために、電光掲示板に最新のニュースが流せるようになっている。さらに、6つの展示ブースに関連した小物やアイテムが、ガレージ内に設けられた「テック・ショップ」で販売されており、気軽に立ち寄れる場となっている。

The Garage was designed as an interim solution for a permanent technology center in the Silicon Valley. It is "temporary" like Frank Gehry's Temporary Contemporary Museum of Art. The facility was designed by A+O Studio, an interior architecture and industrial design studio in San Francisco whose principle is Aura Oslapas, an alumna of Cranbrook, Burdick group and Esprit.

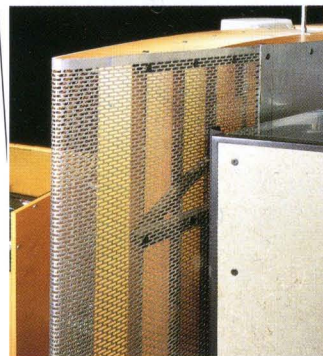
The Garage is an informal learning center for children and adults. The design team steered clear of high tech cliches in order to present an accessible experience. The hall is divided into six areas related directly to technologies centered in the Bay Area—microelectronics, biotechnology, robotics, materials, space and advanced bicycle technology. Each area includes a curved white "textbook" wall with informational graphics, interactive exhibits and videos. The exhibits will change annually. To keep up with the fast pace of change, every area has a panel of flashing electronic headlines and a bulletin board for constantly changing news on related topics. There is a "Tech Shop" which sells items that relate to the six exhibit areas as well.



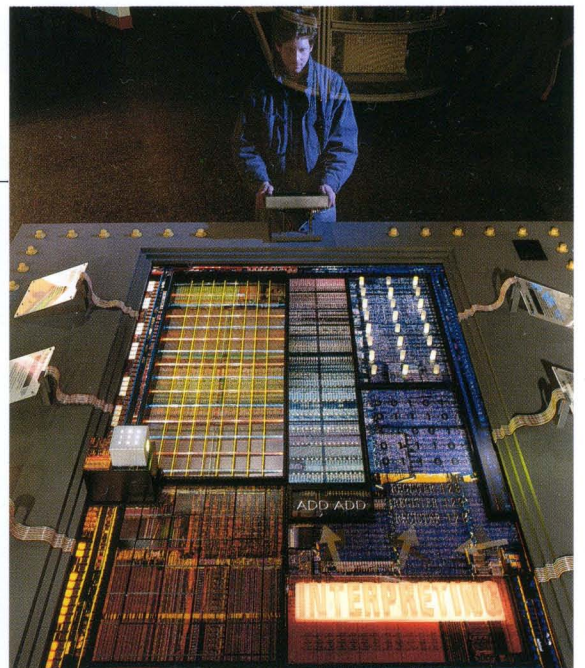
1



2



3



4

1. 展示ホールの入口
2. ジョージ・ロアズ氏の彫刻を配置した「ガレージ」のエントランス
3. インテリアデザインのディテール
4. 18,000倍に拡大したマイクロエレクトロニクスのチップの展示 photo/Richard Barnes

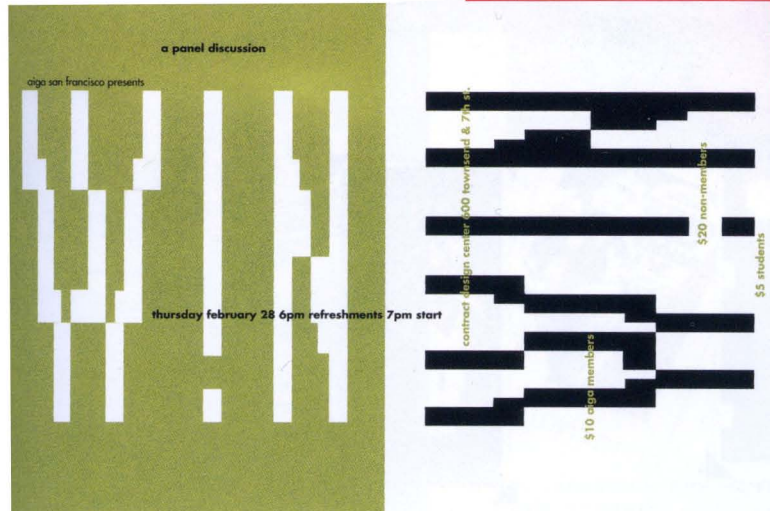


5

- 5. 「1000項目の新発見」展という企画のために作られたポスター design/Eael Gee
- 6. デザインレクチャーシリーズのためのポスター
- 7. パネルディスカッション、「ウィンウィン」のポスター design/AXO design studio



6



7

AIGA サンフランシスコ支部のイベント支援活動

AIGA (全米グラフィックアーツ協会) のサンフランシスコ支部はニューヨークに次いで2番目に規模が大きく、現在の会員数は450人である。支部では会員やその他のデザインコミュニティのために、さまざまな企画やイベントの支援活動を行っている。たとえば、インフォーマルな形式でのデザインスタジオ訪問、あるいは国内外の著名デザイナーを招聘してのレクチャーなどである。この7月には今もっとも注目されているテーマ「環境問題」についてのシンポジウムが計画されている。これと同時に、環境に優しいインクとリサイクルペーパーを使ったポスターのデザインを、50人のグラフィックデザイナーに依頼するという企画もあった。これは限られた資源に対して、デザイナーがその活動を通して、今後どのように貢献できるかを探る先進的なプロジェクトであるといえよう。

The San Francisco chapter of AIGA is the second largest in the country, behind New York, with 450 members. Each year they sponsor a variety of evening events for members and the design community. These vary from informal studio tours to lectures that draw nationally and internationally acclaimed designers and design related professionals. An upcoming symposium on environmental issues is scheduled for July 1991. In conjunction with that, 50 graphic designers have been asked to design one color posters (with environmentally friendly inks) on recycled paper. This project is in anticipation of how designers will respond to severe resource limitations in the future.